**イーライフがVOC活用した顧客インサイト発見の次世代マーケティングAIツール「Discovery AI」を提供開始**

**ー創業25年のクチコミ分析知見 × 世界水準のAI開発力で企業個別の示唆を提供ー**

**日本企業のコミュニティおよびグローバルマーケティング支援を多数手掛ける株式会社イーライフ（本社：東京都渋谷区、代表取締役：藤原誠一郎）は、全てのBtoC企業のマーケティング部門やカスタマー対応部門向けに、VOC（Voice of Customer＝顧客の声）を短時間で分析し、顧客インサイトやマーケティングの改善ポイントの発見に特化したマーケティングAIツール「Discovery AI（ディスカバリー エーアイ）」を、2025年7月31日（木）よりSaaSモデル（β版）を一般提供を開始いたします。**

**▼次世代型マーケティングツール**

「世界水準のAI開発力で独自のLLMを構築し、これまで分析者のセンスに委ねられてきた顧客インサイト発掘を可能にしたDiscovery AIは、従来ツールと一線を画した次世代型のマーケティングツールである」---- 当社のチーフAIオフィサー、アーサー・ハードは語ります。

1999年の創業以来、当社は数多くの企業コミュニティを手掛けファンの声を分析、企業のマーケティング活動に還元する事業と同時に、Shopify Plus パートナーでありシンガポール・中国に拠点を持ち多国籍の社員からなるグローバル企業の立場から、日本企業の海外展開を支援してきました。表層的なテキストマイニング・ソーシャルリスニングでは得られない深いアウトプットを、最先端のAI技術でより多くの企業様に提供したいとの思いから、ヨーロッパ・北米・ASEAN出身のAI技術に精通したエンジニアからなる特別プロジェクトを編成し、Discovery AIは生まれました。Discovery AIはSaaSモデル（β版）からスタートし、今後はキャンペーン自動化・広告内製化・顧客対応など、様々なエージェント機能のリリースを予定しています。

**▼「Discovery AI」とは**

[**https://ai.elife.co.jp**](https://ai.elife.co.jp)

****

**■展開背景**

α世代からシニアまでの全世代でコミュニケーションチャネルや消費行動が多様化する昨今、VOCの収集・分析・活用の重要性は、以前に増して高まっています。一方で、SNS・レビュー・アンケート回答などVOCの取得元およびボリュームが飛躍的に増加し収集や分析が追いつかず、十分に活用されていないのが実情です。

加えて、マーケティング領域では“分析結果に基づいた企業個別の示唆”までが現場で求められるため、汎用的なAIツールでは対応が難しい側面があります。

このようなマーケティング現場の課題に対し、当社はVOC分析の知見および最先端のAI動向に精通している立場から、あらゆる企業が手軽に“顧客インサイト”の発見と理解を高精度に実現できる環境を提供すべく「Discovery AI」が開発されました。  
  
**■「Discovery AI」の概要**

「Discovery AI」は、上述のマーケティング現場の課題を解決する顧客インサイト発見マーケティングAIツールです。ソーシャルリスニング（SNSやECサイトなどに公開されているクチコミデータの収集）機能のみならず、企業が保有するアンケートやレビュー等のインポート機能により、社内に点在する VOCデータを一元管理ができます。

収集したデータは、誰でも扱える直感的なチャットUIと、長年の知見として蓄積された消費者インサイトや抽出ノウハウを学習させた当社独自の最先端LLMモデルおよび分析アルゴリズムにより、誰もが簡単に、示唆に富んだ深いアウトプットを手軽に得ることができます。

さらに、本ツールは月額8.8万円から導入可能で、企業規模を問わず手軽にご利用いただける価格体系を採用。初期費用不要で、導入当日から即日運用できる点も、スピード感が求められるマーケティング担当者にとって大きな利点と言えます。また、多言語対応ゆえ海外市場調査などあらゆる部門・企業でお使いいただけます。

**▼「Discovery AI」の特徴**

**・SNS（X、YouTube）やECサイト（Amazon）のクチコミデータの自動取得**

**・多言語データ対応で海外市場分析にも活用可能**

**・自社保有データ（アンケートの自由記述回答やレビュー、コメント投稿など）のインポート対応**

**・注目すべきVOCの自動ピックアップと全体傾向の自動生成**

**・チャットUIによる分析指示**

**・グラフなど直感的に使えるデータビジュアライズ機能**

**・分析結果の根拠となる原文を参照できるUI**

**・ワンクリックでレポートや分析結果を組織内に共有**

**・キーワード設定やレポート設定のサポート機能**

今後のアップデート予定機能

**・海外SNS（Redditなど）への対応**

**・比較サイトへの対応拡張**

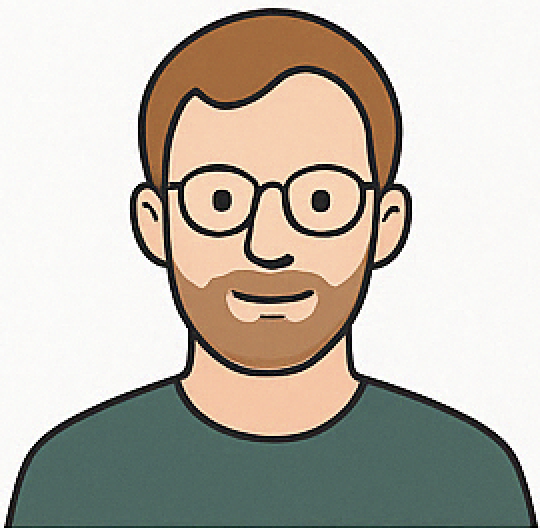
**・炎上リスク検知時のメールアラート通知機能**

**・チャットUIによるパワーポイント（PowerPoint）/スプレッドシート出力**

**・時系列比較分析**

**・スマートフォン対応**

**▼「Discovery AI」責任者より**



株式会社イーライフ　 チーフAIオフィサー

アーサー　ハード

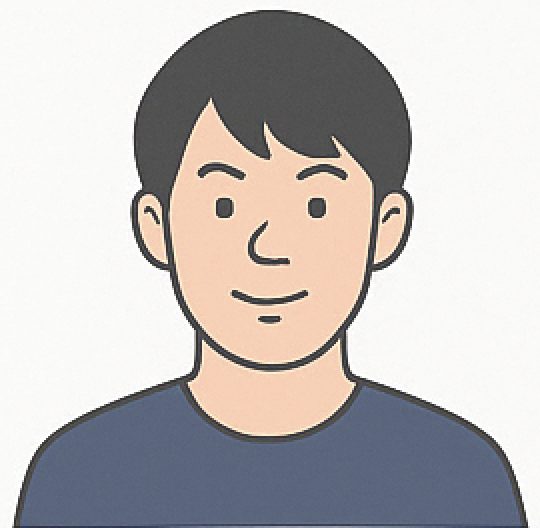
Discovery AIはVOCデータを扱うことに特化した前処理、構造化をオリジナルに行っています。開発にあたり、自然言語処理（NLP）や生成（NLG）・大規模言語モデル（LLM）の技術に精通した海外のエンジニアを中心にチーム編成し、独自かつ最先端のLLMモデルを構築しています。

日本語とくに口語短文が多いSNSは構造化が難しく、そこからインサイトを抽出するのは至難の業でしたが、精鋭のエンジニアと注目データ抽出について試行錯誤を重ね、ユーザーにインスピレーションを与えるアウトプットの提供が可能となりました。

ぜひ、世界水準のAIモデルを体験ください。

アーサー　ハード

eBay社の研究職に従事後、スウェーデンにてOxide AI社を設立、言語処理の責任者としてスマート検索エンジンの開発・実装を主導。 自然言語処理（NLP）や生成（NLG）・大規模言語モデル（LLM）・進化計算まで、幅広い分野のスキルセットと同時に日本語学の学士号を持ち、イーライフではチーフAIオフィサーとしてAI開発を主導。 スウェーデン出身。

****

株式会社イーライフ　 「Discovery AI」プロジェクトリーダー　シニアテクニカルディレクター

三村　駿

当社はコミュニティ事業の草分けで、企業毎のきめ細やかなデータ分析とコンサルテーションを強みとしてきましたが、世界規模でのSNSやECサイトの成長に伴いVOCのボリュームも急速に増える中、当社の強みと世界水準のAI技術と融合させ、「示唆に富んだアウトプットを誰もが手軽に得られる」ツールの開発を進めてきました。

Discovery AIを「次世代のツール」と称するのは、最先端のAI技術に加え、当社ならではの「人によるきめ細かさや属人ノウハウ」を学習している点にあります。

Discovery AIは、企業担当者様のお抱え分析者兼マーケッター兼パートナーとして、それぞれにフィットしたアウトプットが提供できるよう、エージェント機能を進化させ発展してまいります。

三村　駿

アイ・エム・ジェイにてエンジニア兼ディレクターとして活躍後、博報堂マーケティングシステムズではテクニカルディレクターとして様々な業界でのウェブアプリケーション構築やCMSリプレイス等のシステム案件に従事。イーライフではAI技術を活用した特別プロジェクトのリーダーを務める。

**▼株式会社イーライフ**

URL：<https://www.elife.co.jp/>

イーライフは、創業以来、消費財メーカーから大手小売りなど業界の垣根を超え、様々な角度から企業とパートナーである消費者を繋ぐ対話型マーケティングを実現し続けてきました。企業と消費者パートナーとの対話と協業を実践するPRM（Partner Relationship Management）の全体戦略の立案から運営支援、プラットフォーム開発など、企業のマーケティング活動に還元する仕組みを構築・運用しています。

また、シンガポールと中国に拠点を持ち、かつShopify Plus パートナーでもあることから日本企業の海外進出の支援も得意としており、多国籍からなる社員が市場調査から現地での運用サポートまで幅広く支援しています。

これまでのマーケティング支援実績は国内外で1,300以上。大手企業の顧客基盤構築、コミュニティ構築、SNS運営、グローバルD2C事業など幅広く支援しています。

代表取締役CEO：藤原 誠一郎

設立：1999年9月

資本金：4.2億円（資本剰余金含む）

社員：52名 その他 SOHOスタッフ約1,400名（2025年3月現在）

所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷4-21-1 シアターウェスト2階

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

＜本件に関する報道関係者のお問合せ先＞

イーライフ事務局　㈱プラチナム　担当：澤田、福田

Tel: 03-5572-6072／FAX: 03-5572-6075／Eメール：[elife-pr@vectorinc.co.jp](mailto:elife-pr@vectorinc.co.jp)